

令和4年度 第1回 赤磐市地域公共交通会議議事録

日時：令和4年4月18日（月）10：00～10：50

会場：赤磐市役所 3階協議会室

1. 開会

前回会議内容の確認

会長挨拶

2. 協議事項

(1) 令和3年度決算報告及び令和4年度予算書（案）について

◇資料説明：事務局

◇質疑応答・意見

会 長：昨年度設置しておりますベンチについて、利用者或いは設置してるところ、管理していただいているところから何かご意見をいただいているでしょうか。また、今後このようにしていきたいというようなことがありますか。

事 務 局：令和3年度3台設置しておりますマルナカ山陽店、JA山陽支店、熊山駅に設置しており、大変皆さまに喜んでいただいております。今後、令和4年度、5万円の5台分、25万円を計上させていただいておりますが、この度、令和4年4月1日から仁美地域から周匝地域へデマンド型市民バスが乗り入れを行っておりますが、吉井地域では、まだ、ベンチの設置はされていない状況であり、今後事業者と調整をしながら、設置できるところに順次設置していきたいと考えております。

会 長：設置できる場所ではなくて、利用者がきちんと使えるところに設置する、交渉するようにお願いいたします。簡単なところへ置くのではなくて、役に立つところ置くようにということでお願いします。

この決算報告及び予算書案につきまして、承認いただけるかどうかどう

か、お諮りしたいと思っております。承認いただける方は挙手にて意思表示をお願いいたします。

(一同挙手)

会 長：では、この案件については承認ということで進めたいと思います。  
事務局は手続きをお願いいたします。

(2) 令和5年度フィーダー補助申請に係るネットワーク計画の認定について

◇資料説明：事務局

◇質疑応答・意見

委 員：吉井地域のデマンドバスの関係でいろいろお世話になります。4月から仁堀、仁美地区の方々が周匝まで行けるということで、いろいろと聞いてみますと喜んでいらっしゃる方が多いというふうに思っております。今回の計画について、ご協議のお願いいたしまして、提出の方よろしくをお願いいたします。ありがとうございます。

委 員：周匝の方に延長されたということでやはり、利用者利便だけは向上されたのかなと思っておりますので引き続きデータを取りながらより良いものにしていただけたらなと思っておりますのでございます。

会 長：これにつきましても、協議事項でございますのでお諮りすることになります。ただいま提案していただきました内容について書類にして提出していくということでございますけども、この内容につきまして承認いただけるという方は挙手にて意思表示をお願いいたします。

(一同挙手)

会 長：では、この案件については承認ということで進めたいと思います。  
事務局は手続きをお願いいたします。

(3) 赤磐市地域公共交通計画調査業務に係るプロポーザルの実施について

◇資料説明：事務局

◇質疑応答・意見

会 長：何か気がつくところがあったら、後日でも結構ですので事務局の方に言っていただければいいかもしれません。特に意見がないようでしたら、この3番目プロポーザルの実施についてというところですけども、内容につきまして事務局の提案承認いただけるという方挙手にて意思表示をお願いしたいと思います。

(一同挙手)

会 長：では、この案件については承認ということで進めたいと思います。事務局は手続きをお願いします。

(4) その他

委 員：今のデマンドとか市民バス、いろいろ長い間検討されてきて、それなりの方向性はできてると思うんですけど、赤坂も近い将来、デマンドバスが欲しくなるような、状況も近いだろうと思う。スムーズに赤坂地域が何かそういう時期になったら、導入できるでしょうか。また新たな大きなアンケートとか取っていかないと駄目なのか、ちょっとお聞きしておこうかなと思って質問しました。

事 務 局：今年度、アンケート調査をさせていただきますので、そちらの方でもご意見を伺いながら、また地域の実情も特に赤坂地域は、いま定時定路線で走らせておりますけれどもその利用実態等々も踏まえまして、どのような運行形態が良いかっていうのも併せて考えていきたいと思っております。新たに、もしかしたらちょっと赤坂地域の方に少し詳しいような、アンケートとかヒアリングの方をさせていただくかもしれませんが、現在の状況も踏まえながら赤坂地域のあり方を今年、来年にかけまして、新しい計画の中にも盛り込み、運行もしていこうと思っておりますのでよろしくお願ひしたいと思ひます。

会 長：ただいま、赤坂地域の質問がありましたが、赤磐市内の地域による違い、或いは同じ赤坂地域の中でも地区によっても全然状況が違うということが明確に示されていたような気がします。アクセシビリティマップを分析して、どういうふうに事務局として考えるのか。赤坂だけでなく吉井、熊山、或いはそもそも中心部に近いところも含めて、住んでいるところによって公共交通の使い勝手が絵になっていたと思います。この辺り事務局どういうふうにお考えなのか質問させていただきました。

事 務 局：アクセシビリティマップを昨年度1年間かけて、分析をさせていただいております。内容については、それぞれの今までの旧町エリアのいろいろな動きを見てきたんですけれども、このアクセシビリティマップにつきましては、バス停、運行形態等々を一つの目安として実際にどれだけ利用しやすいかということを検討させていただいたものでございます。例えば桜が丘東は、もともと熊山地域であったんですけれども、みんなが熊山の方に行きたいのかというようなことではなく、こちらの山陽の中心に行きたいとかいうようなそういうようなことも見えてきました。そういう実際の今現在の運行状況のデータも使いながら、今年度させていただくアンケート調査、来年度の計画策定の根拠資料として活用していきたいと思っております。本年度から吉井地域のデマンドバスの運行形態も変えるようにさせていただいておりますので、リアルタイムに状況を修正しながら、検討を進めていきたいと考えております。

### 3. 閉会

副会長挨拶